

こうち環境博 2019

実施内容

多様な主体が参画し連携・協働する
総合的環境イベント

こうち環境博 2019



体験プログラム・展示ブース出展

ワークショップ

遊びのコーナー

ステージイベント

スタンプラリーと抽選会

協賛企業によるブース出展

開催概要

開催日時 2019(平成31)年 2月2日(土)10:00~16:00、3日(日)10:00~15:30
会場 こうち男女共同参画センター「ソーレ」(高知市旭町三丁目115番)
主催 特定非営利活動法人 環境の杜こうち
企画運営 「こうち環境博2019」実行委員会
後援 高知県、高知県教育委員会、高知市、高知市教育委員会、南国市教育委員会、香美市教育委員会、香南市教育委員会、いの町教育委員会、土佐市教育委員会、高知県地球温暖化防止県民会議、環境省四国環境パートナーシップオフィス、高知新聞社、朝日新聞高知総局、読売新聞高知支局、毎日新聞高知支局、共同通信社高知支局、時事通信社高知支局、NHK高知放送局、RKC高知放送、KUTVテレビ高知、KSSさんさんテレビ、KCB高知ケーブルテレビ、エフエム高知 (申請中含む)
その他 平成30年度高知県豊かな環境づくり総合支援事業費補助金事業

II. 飛躍期(2020~)に向けて 「特集コーナー」の新設

テーマ: 竹

暮らしの中で活用されている身近な自然素材として「竹」を取り上げる。竹は昔からざるやかご、物干し竿などの日用雑貨などとして活用されてきたが、それらの多くがいまではプラスチックに取って代わり、竹の利用が減ったことによる放置竹林の増加なども問題となっている。竹の性質や、人々が竹を利用してきた歴史を学び、なぜ竹はプラスチックに取って代わられるようになったのか、また、新たな竹の利用方法や課題解決に向けた取組などについて知り、環境負荷の少ない自然素材の活用について考える。

出展団体・企業の連携・協働を
生み出すためには？

↓
具体的な企画が必要
(実行委員会によるコーディネート)

共通のテーマを持つ出展者を集めた特集コーナー

↓
多様な主体間の実践的な
交流・協働を促すしくみづくり

特集コーナーのイメージ(案)

植物や素材としての竹	竹とひと・くらし	竹のいま・これから
竹の種類 竹の性質・特徴 竹の分布	竹が好む環境 竹を好む生き物	竹をめぐるとして 現状と課題
竹をつかう	竹であそぶ	竹のこれから 新しい使い方 新しい産業
竹をたべる		
○解説パネル ○写真や標本などの展示 など	○解説パネル ○竹をつかった生活用品 ○竹をつかったおもちゃ、民具、工芸品 ○竹に由来する食品やうつわ、包装材 ○竹の工作 など	○解説パネル ○写真や標本などの展示 ○紙や集成材、パウダーなど新しい竹製品と企業の取り組み など

前回までの「こうち環境博」にご協賛いただいた企業・団体等の皆さま (五十音順、敬称略)

1 荒川電工(株)	16 (株)ですか	31 東京海上日動火災保険(株)
2 一社)高知県建設業協会	17 (株)轟組	32 とさでん交通(株)
3 入交道路施設(株)	18 (株)ナンコクスーパー	33 日興電設(株)
4 うどんまるごと循環コンソーシアム	19 (株)日産サティオ高知	34 はなればなれ珈琲
5 エコアクション21審査人伊藤綱男	20 高知日産プリンス販売(株)	35 東山建設(株)
6 エム・セテック(株)高知工場	21 高知食糧(株)	36 松木智志
7 (株)公文建設	22 こうち生活協同組合	37 宮地電機(株)
8 (株)暮らしの情報社	23 高知スタンダード石油(株)	38 物部川21世紀の森と水の会
9 (株)グランディール	24 四国家電(株)	39 (株)築山建設
10 (株)高知通信機	25 昭栄設備工業(株)	40 (株)マルクニ
11 (株)サンシャインチェーン本部	26 正和電機(株)	41 匿名(NPO法人)
12 (株)スカイ電子	27 西南綜合建設(株)	42
13 (株)ダイセイ	28 セキスイハイム東四国(株)	43
14 (株)土佐山田ショッピングセンター	29 損害保険ジャパン日本興亜(株)	
15 (株)濱田水道工業	30 タケナカグループ	以上のほか、会場にて来場者の方々からも募金を頂きました。

【お問合せ】「こうち環境博2019実行委員会」事務局 特定非営利活動法人 環境の杜こうち
 〒780-0935 高知市旭町3丁目115番 こうち男女共同参画センター「ソーレ」 3F
 TEL 088-802-2201 FAX 088-802-2205 Email:kochi@npo-kankyonomori.com

「こうち環境博」の目的

1. 環境を楽しく学べる機会を提供し、
県民の環境意識の醸成に寄与する
⇒環境を守り育てる人材を育成する
2. 多様な主体の参画と連携・協働が
生まれる場、機会づくり
⇒地域の環境課題の解決に向けた
連携・協働へ

現在地

[I 立ち上げ期] (2017年～2019年)

総合的な環境イベントとしての内容・構成・進め方の基本形を確立する

[II 飛躍期] (2020年～2022年)

総合的な環境イベントとしての内容・定評を確立する

- 出展内容の質の高さでも定評の得られる環境イベントへの成長を目指す
- 参加団体間の実践的な交流を図り、多様な主体間の協働のきっかけを生む仕組みをつくる
- イベント規模の拡大（会場面積の拡大、来場者数・出展団体数の増加）
- 協賛・寄付金による自主財源の拡大・安定化

[III 安定期] (2023年～)

高知県を代表する総合的な環境イベントとしての内容・定評を確立する

- 多様な主体の参画・協働による環境課題解決の取り組みを生み出し続ける

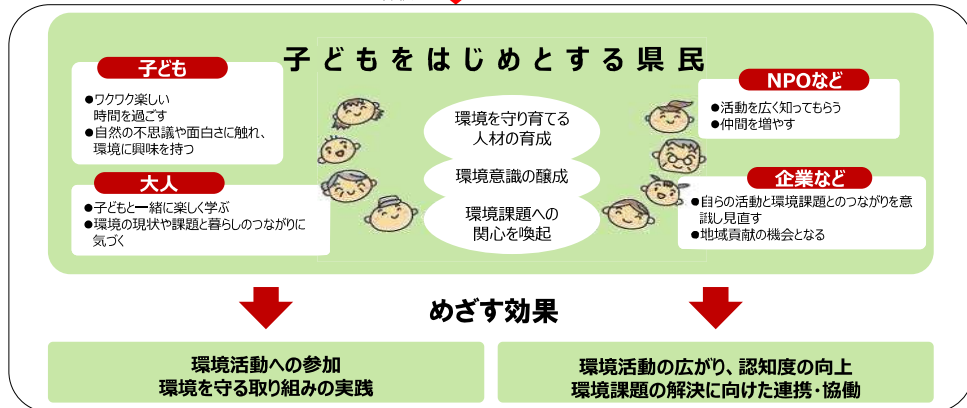
高知県環境基本計画

3つの社会（低炭素・循環型・自然共生）
づくりに、多様な主体の参加・協働により
取り組む。



こうち環境博が
めざす効果

高知県環境基本計画に則した取り組みとして、
高知県豊かな環境づくり総合支援事業費補助事業
採択



[I 立ち上げ期] (2017年～2019年)

総合的な環境イベントとしての内容・構成・進め方の基本形を確立する

開催年	タイトル	目標	来場者数	出展団体数	協賛企業・団体	自主財源の占める割合
2017	こうち環境博 2017 こどもワンダーランド	広く県民に「子どもと楽しめるイベント」として認知され、多くの来場者を安定して得られること	866	35	21	20%
2018	こうち環境博 2018	大人向けのプログラム・展示の充実、幅広い年代の県民に行動変容のきっかけを提供する	897	47	37	40%
2019	こうち環境博 2019	参加団体の学びやメリット創出のための新たな取り組みの開始（II 飛躍期への橋渡し）	1000	30以上	40以上	50%

環境に配慮した事業活動、地域貢献活動に取り組む企業等の出展・協賛を得て、取り組みを広く紹介するとともに、継続的な開催に向けた自主財源の獲得につなげる